

様式 2

点検評価表（県出資25%未満の財団法人等）

1 団体の概要

（令和4年4月1日現在）

団体名	公益財団法人静岡県グリーンバンク		
所在地	静岡市葵区追手町44-1 産業経済会館7階	設立年月日	昭和52年1月29日
代表者	理事長 鈴木 一雄	県所管課	くらし・環境部 環境ふれあい課
設立目的（定款）	環境緑化や森林を守り育て活かす運動の重要性に対する社会の理解と認識を高めるとともに、県民の自発的な参加や協働による緑化活動を推進し、もって豊かで魅力あふれる自然環境と生活環境の創造に寄与することを目的とする。		
設立に係る根拠法令等	緑の募金による森林整備等の推進に関する法律 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律		
団体ホームページ	http://www.greenbank.or.jp		

出資者			役職員の状況（人）			
静岡県	133,520	14.6	常勤役員	2	常勤職員	8
市町	30,517	3.3	うち県OB	1	うち県OB	1
その他	750,555	82.1	うち県派遣	-	うち県派遣	-
			非常勤役員	15	非常勤職員	-
			役員計	17	職員計	8
基本財産（資本金）計	914,592	100.0				

2 行政施策との関係

(1) 団体活動に関係する行政施策の目的

社会総がかりの緑化活動を推進することで、暮らしのまち並みに花と緑を美しく保ち、住む人が誇りと愛着を抱き、訪れる人の感動を呼ぶ、本県ならではの魅力ある暮らし空間を創出する。

(2) 上記を代替・補完する団体活動の概要

支店である市町と連携し、緑化活動団体への情報発信や支援、緑化思想の普及啓発等を通じて、活動団体間のコーディネートや活動の活性化、円滑化、民間事業者への協働の働きかけに努め、社会総がかりの緑化活動を有機的に広げる。

3 これまでの改革の取組

令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県緑化推進計画に合わせた事業体系の見直しをさらに進め、花や緑の専門家を要請に応じて派遣し、緑化の技術的指導に加えて、新たな組織づくりや地域との連携強化にもアドバイスをを行う事業を開始した。 ・日陰に強い芝生を活用して芝生の休憩地を整備する団体を支援する「芝生休憩地モデル事業」を創設した。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の教諭などを対象に行う指導者養成研修は新型コロナウイルス感染症予防のため各会場での実施を中止し、代わりに「寄せ植え用手引書」を作成した。またオンライン形式で寄せ植え教室に関する運営ノウハウを学ぶことができるよう指導者養成動画を制作し、ホームページに掲載した。 ・花壇づくり研修会は新型コロナウイルス感染症予防のため各会場での実施を中止し、代わりに花の魅力と花壇づくりを伝える動画を制作しホームページに掲載するとともに、テキストとしても活用できる「自分らしい花景色の作り方」を制作し、緑化ボランティア等に配布した。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな緑化支援メニューとして、小中学校児童・生徒の緑化運動への参加を促進するため、「学校緑化活動グループ支援事業」と「高齢者いきがい創造花壇グループ支援事業」を追加することで、緑化運動の裾野を広げた。
令和4年度（6月時点）	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな緑化支援メニューとして、東京オリンピック・パラリンピックで築いた花によるおもてなしの気運（レガシーとしての花壇）を後世に引き継ぐため、地域の特色を生かし人の交流にもつながる“ランドマーク花壇”の整備・管理を支援する事業を追加した。

4 実施事業

(単位 : 千円 / R3以前は決算額、R4は予算額)

1	事業名	緑化推進を担う団体・人材育成事業		事業区分	県補助
	事業費	R1	R2	R3	R4
		22,175	19,430	21,129	18,290
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の緑化活動の中核となって担う人材の育成研修の実施 ・未就学児童に対する花育教室の実施 ほか 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による緑化活動の裾野拡大のためにグリーンバンク主催及びグリーンバンクと支店(5市)の共催による「研修会」や「講演会」を開催(参加者485人) ・園児等を対象に「寄せ植え教室」を開講し、227箇所6,047人が参加 			
2	事業名	緑化グループ活動支援事業		事業区分	県補助
	事業費	R1	R2	R3	R4
		43,313	46,909	35,230	33,784
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化ボランティア団体活動費助成 ・花の種子や苗木等の無償配布 ほか 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化ボランティア149団体に活動支援を実施 ・市町の同意を得て地域の景観づくりを行う10団体に支援を実施 ・延べ4,481団体に種子・球根・苗木等の配布を実施 			
3	事業名	都市緑化支援事業		事業区分	県補助
	事業費	R1	R2	R3	R4
		13,369	7,201	4,433	9,610
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前等、地域の顔となる場所におもてなし空間を整備する市町を含む地域協議会に支援を実施 ・日陰でも育成する芝生を活用した芝生休憩地を整備する地域に支援を実施 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・花や緑の専門家を緑化団体等の養成に応じて派遣し、緑化技術の指導、新たな組織づくり、地域連携のアドバイスを実施した。(100回、派遣先47箇所) ・オリンピックの開催に合わせ、駅前等の地域の顔となる場所に整備する「おもてなし空間」を設置する市町を支援した。 			
4	事業名	芝生を活かした緑化推進事業		事業区分	県補助
	事業費	R1	R2	R3	R4
		21,151	21,996	16,736	15,970
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都市緑化の資材として有効な芝生の普及に向け、住民参加による維持管理や公園・校庭・園庭の芝生化を推進 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・公園、幼稚園及び福祉施設等計6施設5,370㎡の芝生化を実施した。 ・住民参加により芝生の管理を行っている31団体を支援した。 			
5	事業名	県民参加による森づくり活動支援事業		事業区分	県委託
	事業費	R1	R2	R3	R4
		44,213	28,581	23,169	28,520
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫事業「森林・山村多面的機能発揮対策」を活用し、各地の森林整備や環境教育に対し交付金を交付 ・県が推進する「しずおか未来の森サポーター」協定に基づき森づくり活動を支援 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び静岡市林業研究会からの受託により、「ふじのくに森の町内会「間伐に寄与する紙」」の事務を行った。 ・県が実施する森づくり活動や講習会等について県からの受託事務を行うとともに、(公社)国土緑化推進機構の助成金を活用して支援した。 			
6	事業名	緑の募金事業		事業区分	その他補助
	事業費	R1	R2	R3	R4
		75,008	66,111	65,495	66,600
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県下各地で募金運動を展開し緑化思想を普及啓発 ・各市町緑化推進団体等が実施する緑の募金による緑化関係事業に対し交付金を交付し森林整備、緑化活動を推進 			
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の募金の情報を提供する「緑の募金だより」17,000部を作成し自治会、公共施設等に配布した。 ・各市町緑化推進協議会等が実施する森林整備や緑化推進に関する事業に対し、緑の募金による交付金を交付した。(34市町、ボーイスカウト) 			

5 点検評価（県所管課記載）

点検項目	県所管課意見				
① 県の出資の必要性が、現在の社会経済環境において認められるか	<p>「静岡県緑化推進計画」（H30.3策定）の基本方針である「花と緑を慈しむ文化の創造」「花と緑による地域の魅力向上」「社会総がかりの緑化活動」を推進するため、県は、豊かで魅力あふれる自然環境と生活環境の創造に寄与する公益財団法人静岡県グリーンバンクと連携して緑化を推進する必要がある。</p> <p>県と地域の間にとって様々な緑化活動を支援するプラットフォームとして期待される公益財団法人静岡県グリーンバンクに対して、県が出資していることは現在の社会経済環境においても認められる。</p>				
② 県からの補助金、委託金等の支出について、必要性、有効性が認められるか	<p>県は、緑化関係の個別計画である「静岡県緑化推進計画」により、社会総がかりの緑化活動を推進することで、暮らしのまち並みに花と緑を美しく保ち、住む人が誇りと愛着を抱き、訪れる人の感動を呼ぶ、本県ならではの魅力ある暮らし空間の創出を推進することとしている。</p> <p>計画の実現に向けては、県民、事業者、緑化関係団体、市町、県がそれぞれの役割を担いながら、社会総がかりの緑化活動のための「人づくりと場づくり」を行うことが重要となる。</p> <p>公益財団法人静岡県グリーンバンクは、県と地域の間にとって様々な緑化活動を支援するプラットフォームとして、県民、事業者、ボランティア団体への情報発信や支援活動等を行っており、その存在は欠かせないものである。</p> <p>このため、県からの公益財団法人静岡県グリーンバンクへの補助金支出には必要性、有効性が認められる。</p>				
		R1決算	R2決算	R3決算	R4予算
	県支出額（千円）	86,480	83,480	72,480	72,480
③ 県からの職員派遣について、必要性、有効性が認められるか	該当無し				
		H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
	県派遣職員（人）				

6 経営上の課題・改善に向けた取組の方向性

・花と緑あふれる豊かで魅力あふれる自然環境と生活環境の創造を図るためには、県民の緑化ニーズに柔軟に対応する必要があり、今後も事業内容の見直しを行っていく。

・県費補助、国交付金、緑の募金を除く財源は、基本財産の運用益及び寄附金が主となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により緑の募金や寄附金の減少が見込まれており、会費・協賛金などの自主財源獲得に努めていく。

・新たな緑化支援メニューとして、東京オリンピック・パラリンピックで築いた花によるおもてなしの機運（レガシーとしての花壇）を後世に引き継ぐため、「地域のランドマーク花壇づくり支援事業」を追加することで、緑化運動の裾野を広げる。

